



## 大学生との共同プロジェクト ハラール料理のレシピ本「みんなのレシピ」大公開！

同志社大学グローバル地域文化学部の授業に、「ムスリム女性のための日本語教室 (ISSJ主催)」の学習者が参加し、大学生との共同プロジェクトに挑戦しました！

### 共同プロジェクトについて

ISSJが主催する「子育て期のムスリム女性のための日本語教室」に参加する皆さんの中には、日本語を学び、日本語を話すことへの恐怖心がなくなってくるにつれ、「もっと日本人のひとと話したい」「私たちのことをもっと知ってもらいたい！」と希望を口にされる方が多くいらっしゃいます。そのような声にどのように応えられるだろうか、と模索を続けている中で、同志社大学の先生より共同プロジェクトのお話をいただきました。

お声がけいただいた授業の目的は、「日本社会に生きる移住者(移民・難民を含む)が地域と繋がるための「場」を創出し、相互理解や交流を深めることに加え、彼・彼女の経験を生かす機会について共に構想する」(シラバスより引用)こと。授業担当の先生との相談を重ね、ムスリムとしての暮らしや想いを知ってもらうと共に、彼女たちの強みであるお料理を活かしたプロジェクトとして実施することになりました。

### レシピ本ができるまで



写真：完成したレシピBOOK

大学生は、共同プロジェクトの前に事前学習として、日本とドイツにおける移住者(移民・難民)の歴史や現状、移住者支援の実践例を学びました。ムスリム女性たちと事前ミーティングを行い、日本の大学について、プロジェクトの趣旨、そして、どんなテーマで対話を重ねていくことになるのかを確認しました。

満を持して迎えた第1回。大学生20名とムスリム女性10名がオンラインでつながり、初めて顔を合わせました。期待と不安の入り混じる表情は、大学生もムスリム女性も変わりません。計8回にわたり、ムスリムとして日本で暮らすこと、日々の習慣やお祭り、大切にしていること、子育て、そして得意なお料理など、故郷や日本での暮らしについて、グループに分かれて対話を重ねました。大学生は、初めて知る彼女たちの素顔に、はじめは少し遠慮がちに、対話を重ねるごとに打ち解けて、様々な質問を寄せていました。女性たちも、これから自分の子どもたちも経験するかもしれない大学生活に興味深々、自然と質問をぶつけていました。



各回の終わりに女性たちから寄せられたのは、「時間がたりない！もっと話すことがある！」という感想。日本語教室で「教えてもらう人」として見せる表情とは一味違う姿がそこにはありました。

これらの対話の集大成としてできあがったのが、日本の食材で作れるハラールレシピ集です。女性たちが語る故郷のレシピを、日本で手軽に手に入る食材で作れるように大学生がアレンジしました。ぜひご覧ください。

(プロジェクトコーディネーター近藤)

写真：参加者が動画を撮り、料理の作り方を大学生に教えました

[レシピBOOKはこちら](#)

## ISSJの日本語教室について



2017年度より実施している「ムスリム女性のための日本語教室」。コロナ禍を経て、オンラインも導入しながら続けてきました。少しずつメンバーを入れ替えながら、毎年40名前後のムスリム女性たちが継続的に学んでいます。6年前には、小さな声で「行くには」が精一杯だった人も、今では一人で病院に行くことができるようになりました。「あいうえお」からはじめた人も、ワクチンの問診票を家族分書いてあげられるようになりました。

母として「家族の役に立てるようにになりたい」という女性たちの強い思いを受けて立ち上げた教室でしたが、日本語の習得が進むにつれて、それぞれの目指す先や思い描く将来像は少しずつ変化を見せています。そして同時に、そういった先輩お母さんの姿を見て、「女性だけ」という安心できる場で新たに学ぶことを希望する方は後を絶ちません。

彼女たちと共に、どんな未来を描くことができるのか。ISSJの挑戦はまだまだ続きそうです。

※令和4年度の日本語教室は、文化庁「生活者としての外国人」のための日本語教育事業として実施しました。  
イラスト ©森公宏

## お知らせ

### インターンを募集しています！

ISSJの活動をサポートしてくださる、インターンを募集しています。国際福祉担当と、養子縁組の資料管理とデータベース化担当を募集しています。ISSJの事業や国際福祉に関心のある方など、ご応募をお待ちしています！

[募集要項や詳細はこちら](#)

### 「第1回特別養子縁組当事者による全国フォーラム2023」報告書 公開

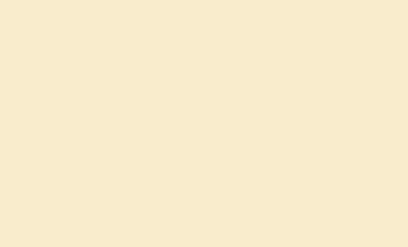


2月25日に、特別養子縁組当事者、支援者の交流・つながりを目的とする「第1回特別養子縁組当事者による全国フォーラム2023」が開催され、ISSJは本フォーラムの実行委員会として協力しました。

※本フォーラムは、厚生労働省の補助事業として実施されました。

[報告書はこちら\(厚生労働省ウェブサイト\)](#)

### 【取材をうけました】『自分のことは忘れてほしい』子を放手す親の迷い 余命3カ月の父の視点から考える特別養子縁組』

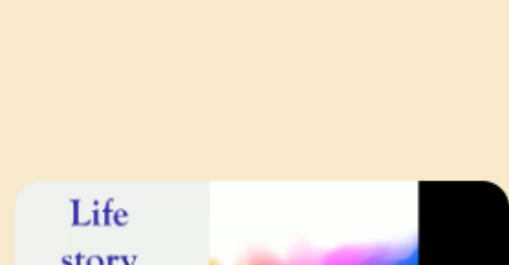


余命3ヶ月の宣告を受けたシングルファザーとその息子を描く『いつかの君にもわかること』に関連して、特別養子縁組の支援を行う団体として、東洋経済オンラインの記事の取材を受けました。

[記事の全文はこちら](#)

## 活動報告

### 【養子縁組】児童福祉関係者向けオンラインセミナーを実施しました



児童相談所・乳児院・児童養護施設の職員など、児童福祉関係者を対象に、イギリスからジョアンヌアルバー氏(ソーシャルワーカー・セラピスト)を講師とするライブストーリーワークのセミナーを開催しました。

現場で支援にあたる方々を中心に、200名を超える申込みがあり、事前質問や当日の質疑応答セッションではたくさん質問が寄せられました。

※写真：ジョアンヌアルバー氏の講義の様子

### 【Children Across Borders (CAB)】支援報告・国籍の取得

先月、ISSJで長年支援を続けていた方が国籍を取得することができました。



この方は、子どもの頃から無国籍のまま生活をしていましたが、成人したタイミングでさまざまな支援とつながることができ、やっと全ての必要な手続きを終え、国籍を取得することができました。出生登録を大使館で行うには生みの親の協力が必要です。しかし、居所を転々としていたこの方の親に手続きを理解してもらい、かつ協力を得ることはそう簡単ではなく、数年にわたって模索を続けてきました。児童相談所、大使館や弁護士などの関係者と連携し、先月、ようやく全ての手続きが完了しました。

### 【移住者・難民の支援】卒業、就職、進学おめでとう！



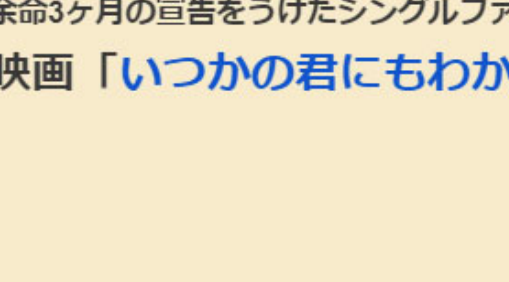
ISSJが支援する移住者の子ども・若者たちから、卒業や就職、進学などの報告をいただきました。中東出身難民のAさんは専門学校を卒業し、念願叶って料理人の道に進んでいます。田舎好きのH君は高校卒業後、希望する馬の世に！N君は、第一希望の高校に合格することができました！

今年の3月に卒園し、4月に小学校入学したUちゃんは、日本生まれです。ISSJは、難民として日本に逃れたUちゃんのお母さんの妊娠相談から、出産、そして生活相談などの支援を続け、10年近くが経過しました。このような成長を見られることは、ソーシャルワーカーにとっては嬉しい限りです。

写真：Uちゃん3月の卒園式の様子

## ソーシャルワーカーの視点

余命3ヶ月の宣告を受けたシングルファザーとその息子の姿を描く映画『いつかの君にもわかること』を見て

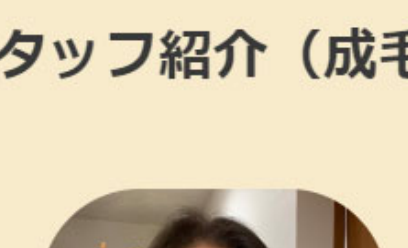


人生は選択と決断の連続です。進学、就職、結婚、といったライフイベントから、服装、食事のメニュー、余暇の過ごし方など日常のあらゆる場面で、私たちは選り取りながら、日々を紡いでいます。選択するときの状況は種々様々で、頭を抱えて悩みながら、ということもあれば、何の気なしに、ということもあるでしょう。自分のための選択であれば、選択した結果は自己責任として、受け入れることができるかもしれません。しかし、この映画の父親のように、幼い我が子の人生を左右する決断であれば、そう簡単に手を打つことはできません。ただ、人生のどんな局面においても、パーフェクトな選択肢を手にするためには、そうそうありません。かけがえない大切な者のために「あなたは何を守りたいですか？」そんな問いと選択のあり方について、考えさせられました。

(ソーシャルワーカー 犬場)

『いつかの君にもわかること』全国絶賛公開中  
監督・脚本：ウベルト・バルネロ  
監修：ジェームズ・ノートン、ダニエル・ラモント、アイリーン・オヒギンス  
2020年 | イタリア、ルーマニア、イギリス | 英語 | 95分 | カラー | 5.1ch | 原  
題：Nowhere Special | 字幕翻訳：渡邊貴子 | G  
提供：木下グループ 配給：キノフィルムズ  
© 2020 picmedia srl digital cube srl nowhere special limited rai cinema spa red wave  
films uk limited avanpost srl  
<https://kinofilm.it/movies/nowhere-special/>

## スタッフ紹介 (成毛彩)



20年以上前、ISSJで働いていた母から、パソコンをご寄付いただいたのに誰も使用方法が分からないので見てほしいと言われ、それがきっかけで勤務することになりました。当時、ケースの内容は手書きやワープロで進捗状況が分かりづかったため、少しずつデータベース化をはじめ、情報発信のためホームページやニュースレターを作成、ISSJの45年50年史をまとめた本の編集などに携わりました。

ISSJには、戦後から行っていた養子縁組などの写真、手紙、資料などが大切に保管されています。問い合わせに応じてすぐに見つけられるよう、現在もデータ化のお手伝いをしています。

最後までお読みくださり、ありがとうございました。ISSJメルマガに関するご質問・ご意見がございましたら、[issj@issj.org](mailto:issj@issj.org)まで、お気軽にお問合せください。

### ISSJの会員を募集しています！

ISSJの活動を継続的に応援いただく会員を募集しています。会員には、イベントのお知らせや事業報告書、ニュースレターなどをお送りします。

[会員登録はこちら](#)

### ISSJ公式Facebook

最新情報は公式Facebookページにて、随時更新しております。よろしければご覧ください！

[Facebook](#)

正しく表示されない場合は[こちら](#)  
このメールは、以前よりISSJにメール登録のある方に送信しております。今後もし引き続きメールマガジンの受信を希望される方は[こちらをクリック](#)してください。今後メールの受信をご希望されない方は、こちらから[配信停止手続き](#)が行えます。

本メールは [maimagazine@issj.org](mailto:maimagazine@issj.org) より [tsukura@issj.org](mailto:tsukura@issj.org) 宛に送信しております。  
東京都文京区湯島1-10-2 朝茶ノ水K&Kビル3F

✓ 認証 購読停止 | 配信停止 | 登録情報更新 | このメールを転送する | 迷惑メールと報告する



TRUSTED EMAIL